

評価項目	評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
					優標準劣						
			重み	実点	1	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価 専門技術力	目的と内容の理解	当該業務の主旨を十分に理解しているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」 "=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」 "=4⇒「1.0」					1.2	☐ ・ 当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・ 業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。 ☐ ・ 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ ・ 提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。（担当路線・河川等の地域特性など）
	小 計		10	6						1.2	
	的確な履行	法令・技術基準の知識は十分か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」 "=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」 "=4⇒「1.0」					2.4	☐ ・ 業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。 ☐ ・ 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・ 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。 ☐ ・ 業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
		業務内容についての判断は的確か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0」 "=1⇒「0.2」 "=2⇒「0.4」 "=3⇒「0.6」 "=4⇒「0.8」					0	☐ ・ 業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。 ☐ ・ 業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。 ☐ ・ 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☐ ・ 業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・ 業務（現場）で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
		関係者とのコミュニケーションは適切か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」 "=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」 "=4⇒「1.0」					2.4	☐ ・ 日々の業務内容を調査員に報告するなど常に連絡を密にしていた。 ☐ ・ 緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、調査員に分かりやすく伝えられた。 ☐ ・ 現場での問題点などを迅速に調査員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。 ☐ ・ 関係者（工事請負業者等）との対話を心がけ、トラブルがなかった。
	小 計		60	36						4.8	
	業務目的の達成度	必要事項が適切に記載されているか？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」 "=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」 "=4⇒「1.0」					2.4	☐ ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・ 調査員からの指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。
		業務に求められる確な取りまとめがされているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 "=1⇒「0.4」 "=2⇒「0.6」 "=3⇒「0.8」 "=4⇒「1.0」					1.2	☐ ・ 業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☐ ・ 業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 ☐ ・ 業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 ☐ ・ 業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	小 計		30	18						3.6	
	専門技術力計		100	60						9.6	

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
						優標準劣						
				重み	実点	1	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	業務実施体制の的確性		40	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					2.4	☐ ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。 ☐ ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。 ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。 ☐ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
		打合せ内容の理解	発注者との打合せは適切か？	20	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.6」 〃=2⇒「1.0」					1.2 ⑧	☐ ・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。 ☐ ・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打合せ事項が的確に業務に反映された。
		指揮系統の迅速性 確実性	情報伝達の基本は守られているか？	40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0」 〃=1⇒「0.2」 〃=2⇒「0.4」 〃=3⇒「0.6」 〃=4⇒「0.8」 〃=5⇒「1.0」					0 ⑨	☐ ・関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。 ☐ ・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。 ☐ ・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。 ☐ ・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。 ☐ ・担当技術者への技術的関与が的確であった。
	管理技術力計			100	32						3.6	
	取組姿勢	責任感、積極性、 発注者側の視点		100	8	評価細目チェック数 =0⇒「0」 〃=1⇒「0.2」 〃=2⇒「0.4」 〃=3⇒「0.6」 〃=4⇒「0.8」 〃=5⇒「1.0」					0 ⑪	☐ ・管理技術者、担当技術者として、無責任な姿勢は見られず、発注者を支援する立場としてふさわしい対応をとった。 ☐ ・打合せにおいて、発注者側の視点から確認・解決すべき事項を見逃さなかった。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合は、発注者を支援する立場として問い合わせや確認が迅速になされた。 ☐ ・発注者を支援する立場として、関係者に対する対応が適切であるとともに、必要な報告・調整が遅滞なく実施された。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。
取組姿勢 計			100	8						0		
計				100						13		